

2021年11月9日

経済調査室 市場情報課 田頭浩二

エイチ・エス 銘柄レポート

日本調理機株式会社

「厨房機器の開発・製造・販売等」

コード番号： 2961 主要上場市場：東証2部

- 厨房用機械器具の製作、販売
- 食品加工機械器具の製作、販売
- 一般機械器具の製作、販売
- 上記各項の機械器具の輸出入業務
- 機械器具を設置するための建物工事、施工
- 建設工事業に関する設計、施工、監理
- 建築物の設計、工事監理
- その他前各項に附帯する一切の業務

事業の内容 厨房機器の開発・製造・販売等
市場区分 東京証券取引所 東証2部
代表者の役職氏名 代表取締役社長 齋藤 有史
1単元の株式数 100株

企業の公共性を堅持し、厨房機器の製造と販売および調理設備の施工を行っている。

◎最近の業績動向

決算年月	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当り 純利益(円)	1株当り 純資産(円)
2016年9月期	16,537	1,053	703	722.98	4,608.21
2017年9月期	16,777	890	582	598.46	5,067.40
2018年9月期	16,605	490	342	352.16	5,279.29
2019年9月期	16,164	400	267	274.48	5,433.16
2020年9月期	15,902	491	332	341.10	5,663.19

(*) 上場時発行済株式数1,118,572株(予定) (会社資料より)

(*) 2017年9月期までは「会社計算規則」の規定により算出。2018年9月期よりEY新日本有限責任監査法人の監査を受けている。

(*) 2020年4月13日付で10株を1株の割合で株式併合を実施しているが、2016年9月期の期初に併合が行われたと仮定して1株当たりの数値を算出。

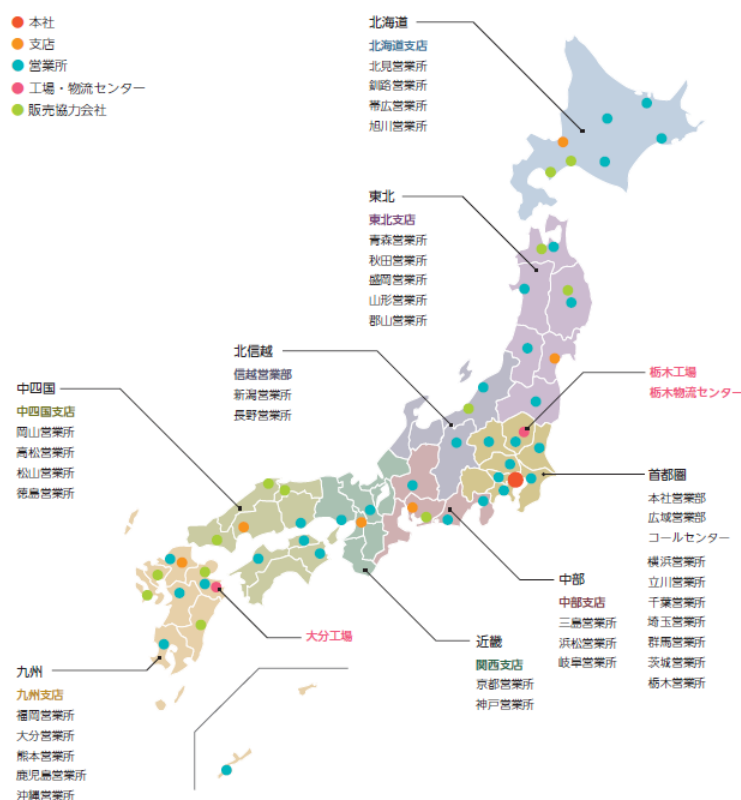
◎事業の内容

■当社は業務用総合厨房機器メーカーとして、設備・機械等のハード面から、動線・運用・アフターフォローといったソフト面を考慮した厨房システムの企画、開発、設計、生産から施工、アフターサービスに関する事業を行っている。当社の主力製品は、食器洗浄機、食器消毒保安器 (*1)、回転釜 (*2)、炊飯器、スチームコンベクションオーブン (*3) 等であり、厳格な品質管理体制のもと、栃木工場並びに大分工場の2工場体制で生産を行っている。当社の事業の最大の特徴は、顧客ごとのベストな「厨房」造りを実現することで、ソフト・ハードの両面から、顧客ニーズの実現に努め最適な製品の導入ができるよう、以下の体制で事業を推進している。

販売・施工部門

当社は国内すべてのエリアをカバーすべく、支店・営業所を全国に設置し、東京23区を担当する本社営業部門を含めてエリア別に営業活動を推進するとともに、広域営業部において、設計事務所及び全国に展開する一般企業に対する営業活動を実施している。

また、業務統括本部品質管理部施工課では、施工に関する支援業務及びコントロールを行っている。



出所：会社資料より HS 証券作成

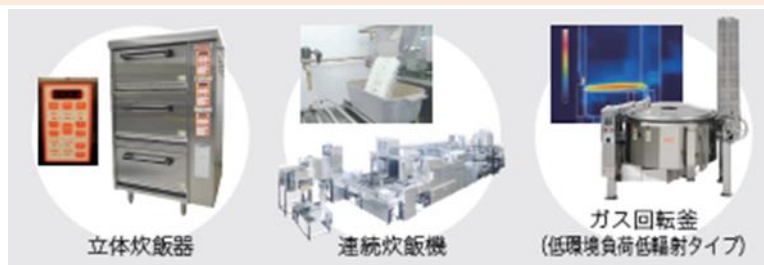
設計・開発部門

当社は、常に革新的な製品の開発を志向しており、新商品の開発や従来品のバージョンアップ等を長期スパンで取り組んでいる。

設計・開発部門と他の部門の連携体制を構築し開発専門のプロジェクトを組成して、製品、システムを開発し、市場に供給している。

また、当社は顧客の要望に合わせてカスタマイズした製品を供給するため、受注生産を基本としており、顧客の要望や問題点の分析結果をもとに設計部門で最適なカスタマイズ設計を行い、生産部門に引き渡すことで顧客満足度の高い製品の供給を可能としている。

安全・安心・おいしいを目指して開発した、こだわり製品の一例



生産部門

栃木工場と大分工場の2工場体制で、創立以来培われてきた職人の技と各種機械制御技術を融合させ、耐久性と安全性の高い製品を生産している。

各工場では1名もしくは数名のチームでそれぞれの工程に携わる体制としており、職人の技術の伝承にあわせて、繁忙期対応のために、多能工化を推進している。現在、大分工場においては、消毒保管機及びスチームコンベクションオーブンを主体に、それ以外の製品については栃木工場で生産しており、災害等が発生した場合には、互いに補完できるよう技術継承に努めている。

匠の技が光る当社製品の一例



アフターサービス部門

「製品とサービスはワンパッケージ」という考えのもと、アフターサービスに力をいれている。

業務統括本部コールセンターを中心に工場に配置されたカスタマーサービス部ならびに各営業拠点に配置されたカスタマーエンジニアが相互に連携し、保守点検、修理、相談に迅速に対応できる体制を確立している。

営業拠点のカスタマーエンジニアについては、1年単位の研修を実施した後に再配置する仕組みとしており、これにより全国で同一のサービス提供を可能としている。

サービス研修

全国で同一の高品質なサービスが提供できるように、本社での1年単位の研修を経て、全国にスタッフを配置している。



本社内にある作業場内で工具の使い方、部品名、用途等を、実物を見て習得する。



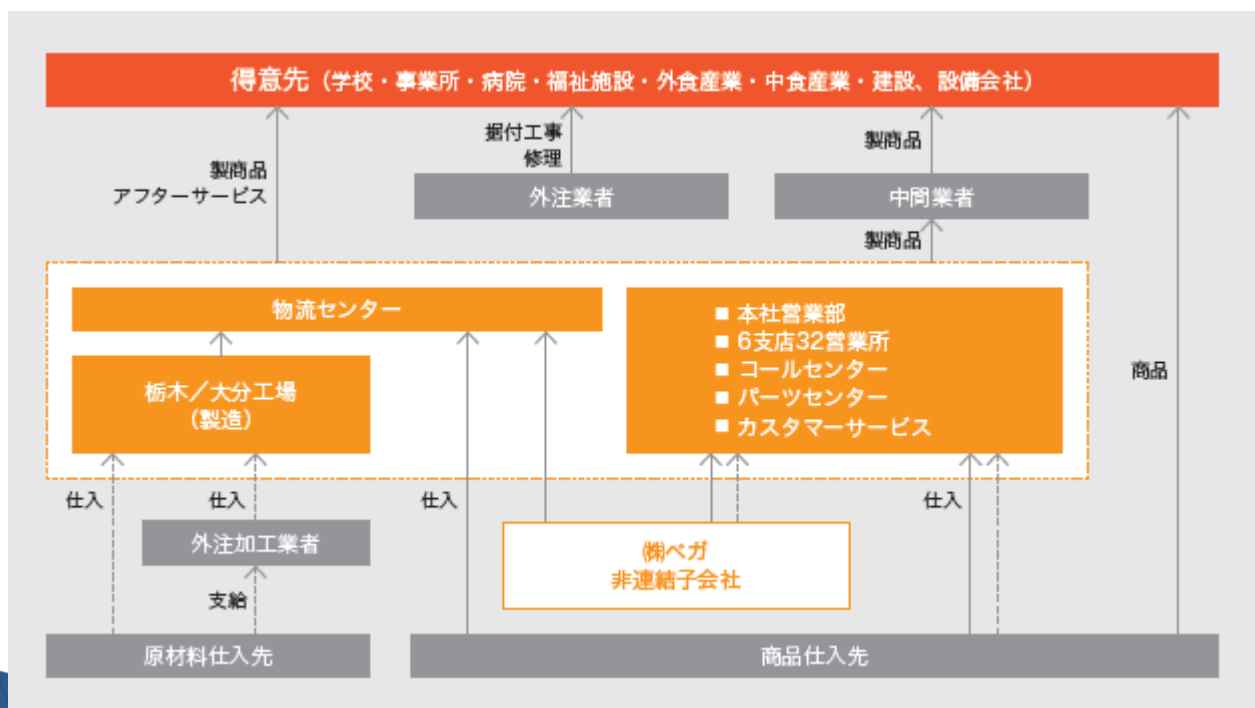
持ち帰られた機械を、先輩と一緒に修理しながら学ぶ。基本はパートナー清掃から行う。



先輩に同行して顧客の厨房に伺い、安全・清潔を厳守するよう指導される。



依頼内容によっては一人で訪問する。臨機応変に対応できる力を身につける。



用語説明

(*1) 食器消毒保管器：庫内に収納した洗浄後の食器類を、庫内に対流させた熱風にて加熱消毒を行い、且つ、そのままの状態での乾燥保管する収納庫。熱源には電気、蒸気がある。

(*2) 回転釜：大量調理施設において、焼き物、炒め物、煮物など様々な調理に用いられる加熱調理機器で、回転ハンドルを操作して、釜を前後に傾けることが可能な製品。熱源にはガス、電気、蒸気がある。

(*3) スチームコンベクションオーブン：熱風と水蒸気を用いて調理を行う加熱調理機器。熱風のみを利用するオーブン機能、水蒸気を利用するスチーマー（蒸し器）機能、及び、熱風と水蒸気のメリットを同時に利用する調理機能（コンビモード）を備え、「焼く」「蒸す」のほか、「煮る」「炒める」「炊く」等の調理も可能な万能調理機器。熱源には電気、ガスがある。

【ご投資にあたって】

本レポートの記載の内容を参考にして国内金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満を除く）を営業店でお取引をされる場合、約定代金に対して最大 1.1524%（税込）（ただし約定代金の 1.1524%に相当する額が 3,300 円に満たない場合は 3,300 円（税込）。手数料率等は取引チャネルにより異なります。）の委託手数料をご負担いただきます。

また、株式相場、金利水準、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者の信用状況（財務・経営状況含む）の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じるおそれ（元本欠損リスク）があります。信用取引などを行う場合には、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がおお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。なお、商品毎に手数料及びリスク等は異なりますので、当該商品の目論見書及び契約締結前交付書面をよくお読みください。

【免責事項】

■本レポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されたものですが、エイチ・エス証券はその正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。

■本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、エイチ・エス証券は、理由の如何を問わず責任を負いません。

■本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄等の勧誘、売買の推奨または相場動向の保証等を行なうものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためにのみ、お客様の限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

【利益相反情報について】

■当社および関係会社又はその役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他のサービス提供の勧誘を行なう場合があります。

■当社の役員（会社法に規定する取締役、監査役又はこれに準ずる者をいう。）が、以下の会社の役員を兼務しております。

：澤田ホールディングス、エイチ・アイ・エス、クリーク・アンド・リバー社

(商号等) エイチ・エス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

(加入協会) 日本証券業協会